

# お元気ですか

## 飛蚊症について

市立長浜病院

眼科 額田 正之

飛蚊症は、物を見ている時に蚊のようなものが見える状態のことを指します。「自分も時々見ることがある」という人も多いと思います。60代以上の高齢者によくある症状ですが、若年者でも症状を自覚する人がいます。

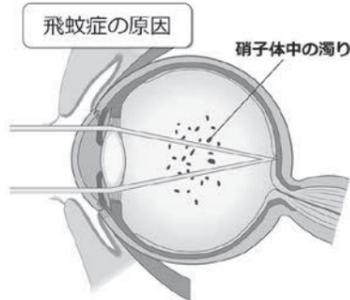
原因は生理的(加齢)原因と病的原因があります。

### ①生理的原因

眼球の後面に「硝子体」というゼリー状の物質が詰まっている部分があります。若年者はその部位のすべてにゼリーで満たされています。しかし、60代以上の高齢者になると、ゼリーが水分と線維組織に分離していきます。その時、水分が濁ったり、線維組織の膜状のものが生じたりします。その水分の濁りや膜状のものの影響で、蚊のようなものがあると人間は感じてしまうのです。このゼリーの変化は、近視が強い人は若年者でも生じます。

### ②病的要因

飛蚊症を生じる代表的な病気に網膜剥離があります。硝子体のゼリーは、光を感じる網膜といわれる組織の色々な部位に癒



着しています。そのため、先ほど述べた加齢による硝子体の変化が生じると、硝子体が網膜を引っ張ってしまい、網膜裂孔という穴が開くことがあります。穴から水が潜り込むと、網膜が剥がれ、網膜剥離になってしまいます。網膜剥離は失明につながる非常に怖い病気です。網膜裂孔が生じた時などに飛蚊症が多く発生します。他にも飛蚊症を起こす病気は、糖尿病網膜症やぶどう膜炎などがあります。

以上のように飛蚊症の原因には生理的原因と病的原因がありますが、自分で判断することはできません。生理的原因がほとんどですが、たまに網膜剥離などの怖い病気が潜んでいることがありますので、気になるようでしたら眼科受診をお勧めします。

### 問 市立長浜病院

68・2300(代表)

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

## ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとくあり輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介していきます。

### 重要文化財

#### 「十二神将立像(鶏足寺)3軀」

指定日：明治34年3月27日、昭和3年8月17日  
所在地：長浜市木之本町古橋

鶏足寺世代閣に伝わる十二神将立像のうち3体は、木心乾漆という奈良時代当時の最先端技術によってつくられています。

木心乾漆とは、木で大きな部分を彫刻し、細かな表現は「木屎漆」を用いて形を整えるという彫刻技法です。木屎漆は麦漆(生漆)に小麦粉を混ぜて粘りを出した接着剤に木くずを溶いてペースト状にしたもので、パテのように盛り上げて、固まるまでは手指やヘラで成形し、固まればノミで彫刻します。高価で貴重な漆をふんだんに使う技法のため、経済力と技術力のある都とその周辺の官営工房で、奈良時代後期から平安時代前期までのごく限られた時期にだけ流行しました。

現在、本像は腕が失われ、彫刻面に亀裂や剥落が目立つ姿ではあります。それゆえに木心乾漆の内部構造

や材質を確認することができません。頭部から岩座まで一木から彫出して心木とし、背中から内刳(内部をくり抜き、空洞にする)を施しています。そして、像全体を木屎漆で覆い、表情豊かな面部の隆起や細かい毛筋、緻密な甲冑の装飾、柔らかい衣の質感などを効果的に表しています。木屎漆の層の厚さは4mm前後で、ベルトや腹下の衣など厚い部分は15mmほどあります。耳朶(耳たぶ)には針金の芯、複雑な曲面をもつ襟には釘柵が用いられ、木屎漆を巻き付けています。制作年代は719年作の興福寺北円堂木心乾漆四天王立像(国宝)よりも遡る、奈良時代末期と考えられています。

己高山周辺は奈良時代、山林修行のために南都奈良の僧が訪れ、当時最先端の仏教文化と造像技術を伝えたと考えられています。

そのことを示す貴重な事例として、優れた湖北の仏像の記念碑的な存在となっています。



▲十二神将立像

問 歴史遺産課 ☎65・6510

### ●広報ながはまに関するご意見 (今後、特集を希望するテーマ)

年齢 歳 ( 男性 ・ 女性 )

※担当課からの返事をご希望の場合は、氏名・ご住所・連絡先(電話・メールなど)をご記入ください。

### ●市政に関するご意見

## ながはまの自然 不思議発見!

### エピソード 17 「カモたちの熱い恋の季節」

このエピソードを紹介する おもしろ動画はコチラ



### カモのオスたちの 猛烈アピール作戦!! コガモ編

①伸びをして存在をアピール!

見て! 見て!

ほくのお尻きれいでしょう!

ほ〜ん!!

ステキ

②最後はお尻をアピール!

コガモのオスのアピールポイントは、ずばり!きれいなお尻です!!

カモのオスは、いろんな技でメスにアピールしてるんだね。

びわ湖岸を埋め尽くす水鳥の群れは、この時期に市内の各地で見られる光景です。この水鳥のほとんどがカモの仲間です。今月はそんなカモたちの夫婦事情のエピソードを紹介します。

カモたちは、冬の間にパートナーを見つけて、番になります。一見華やかなオスがメスをリードしているように思われがちですが、実はパートナーの選択権はメスが持っており、オスはなんとかしてメスを選んでおらおうと必死に美しい羽を着飾っているのです。この時期のオスは、メスの周りをまわって、自慢の美しい羽を猛烈にアピールしますが、メスは素知らぬ顔という場面もあり、見ている私たちがオスの健気さに同情しなくなることも少なくありません。

湖北の寒い冬は、カモたちにとって熱い恋の季節です。カモたちの恋愛バトルの様子を一度見てみませんか。

問 湖北野鳥センター ☎79・12009